

千代川流域の概要

- 1.流域の自然状況
- 2.流域の社会状況

流域の自然状況

流域面積: 1,190km²

幹線流路延長: 52km

流域内人口: 約20万人

想定氾濫区域面積: 64km²

想定氾濫区域内人口: 約9.4万人

流域構成市町: 鳥取市、
八頭町、
智頭町、
若桜町

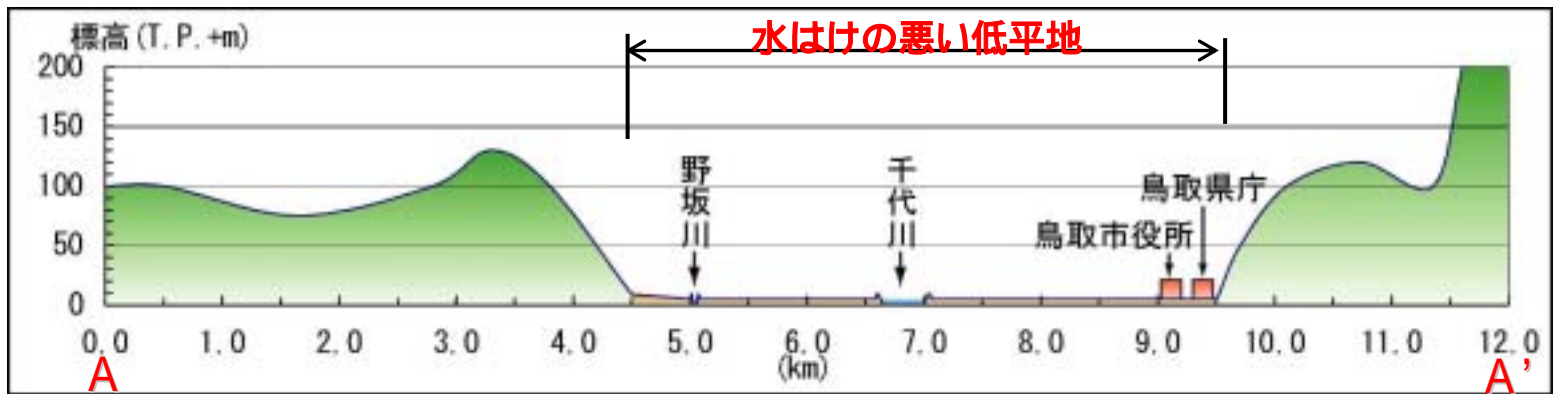
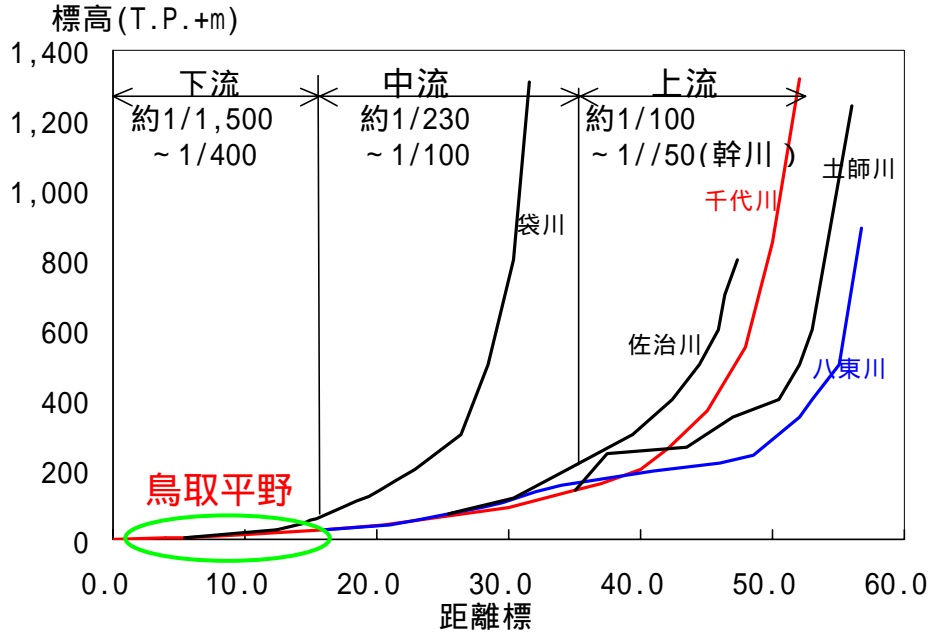
流域図



2.流域の地形

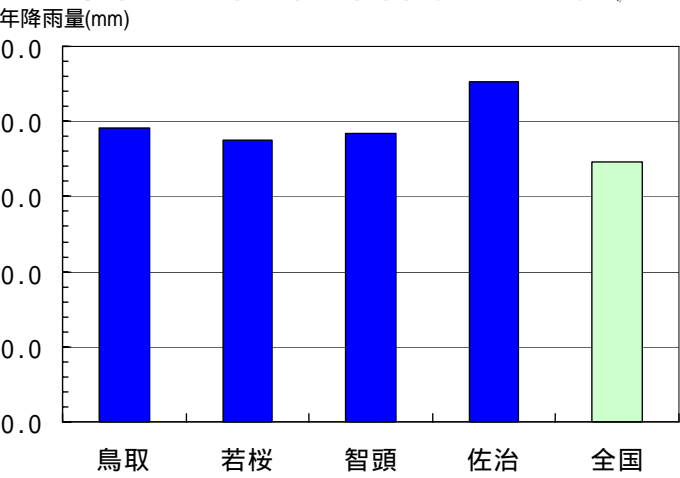
千代川本川の河床勾配は下流で比較的緩やか

山地に取り囲まれた中央に鳥取平野が位置し、水はけが悪く、内水被害が発生しやすい地形

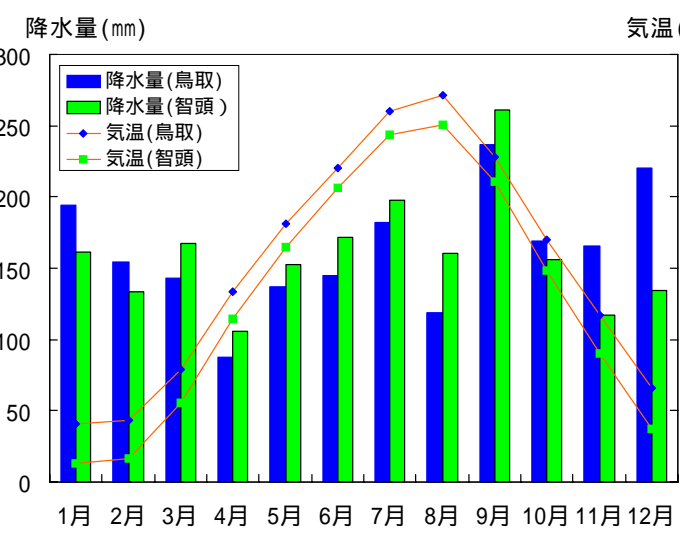


3. 気象・気候

- ・鳥取地方は中国地方の中でも多雨地域
- ・千代川流域の降雨量は約2,000mmで、本川沿いでは少なく三方の山地部で多い



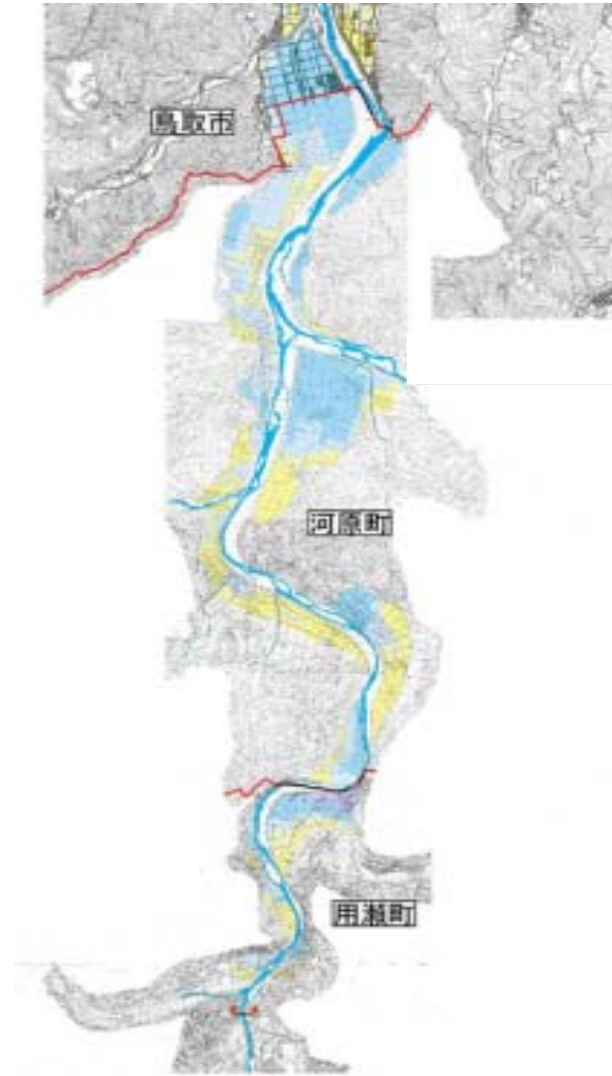
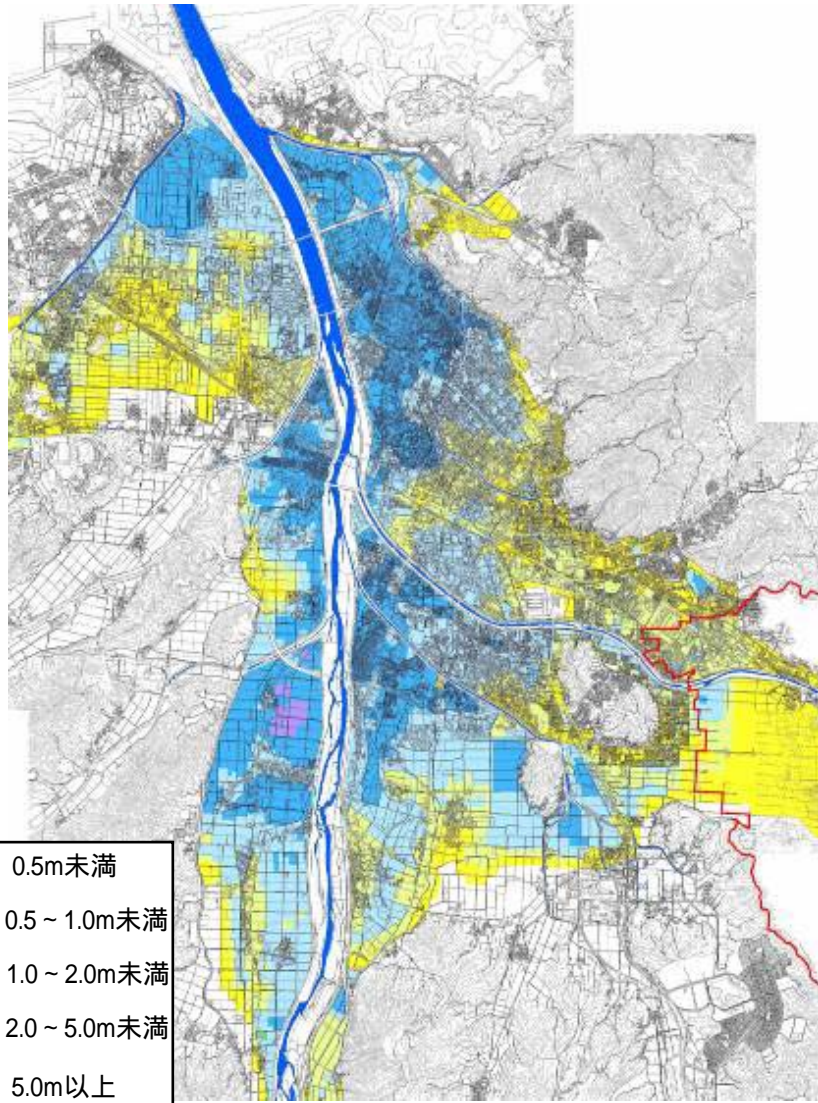
流域内の気象庁観測地点の年間平均降水量(H8～H17)



年平均降水量分布図(平成7年～平成16年データに基づき作成)

4. 浸水想定区域

千代川が氾濫した場合、鳥取平野の大部分が水没

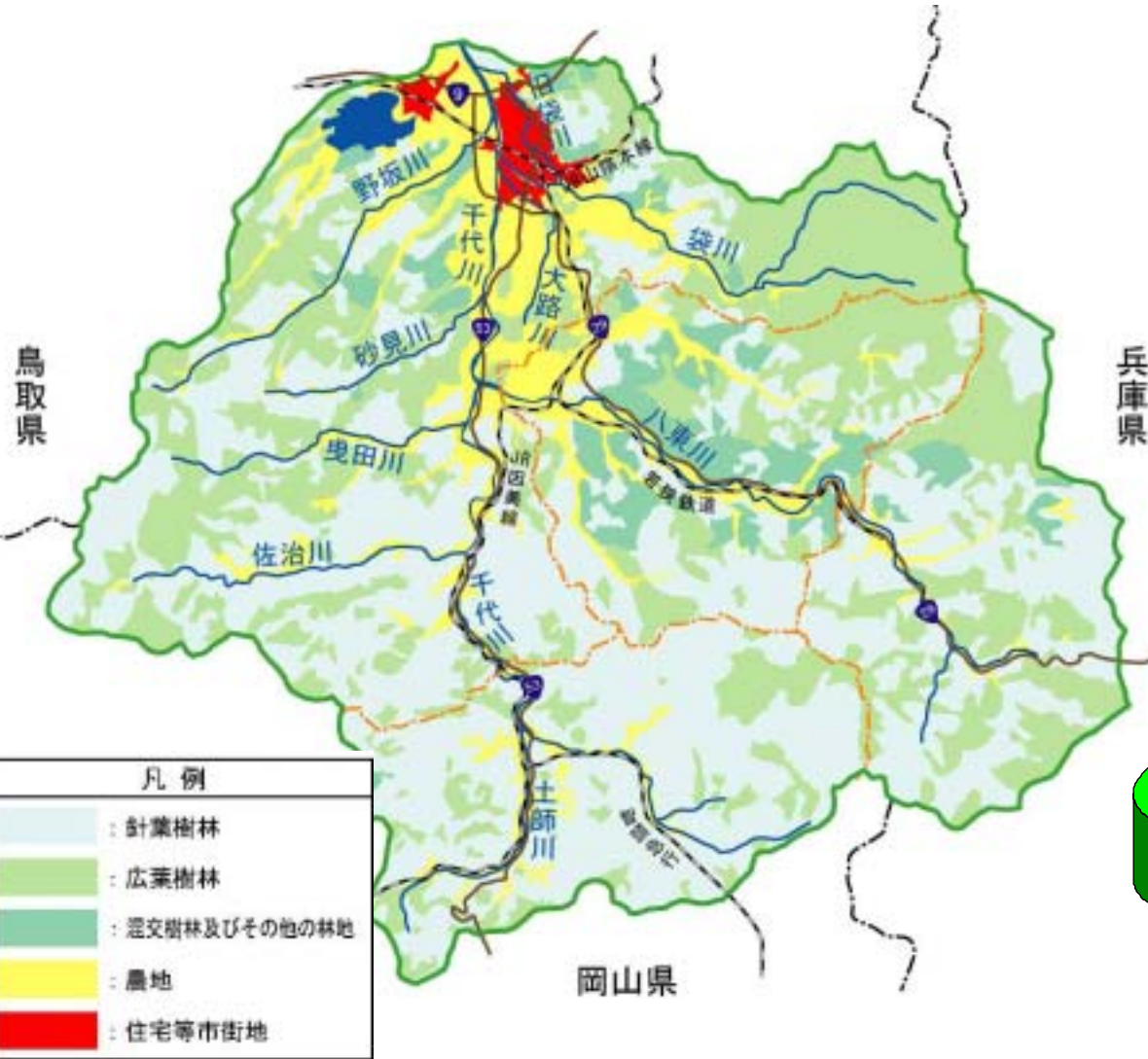


千代川下流浸水想定区域図

千代川上流浸水想定区域図

5.土地利用状況

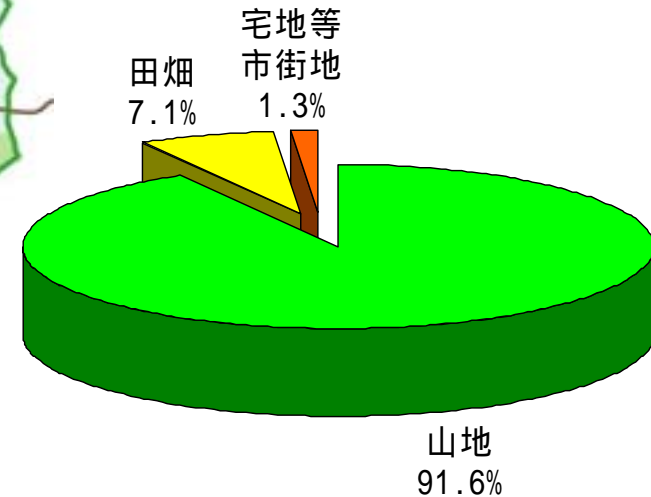
・流域の約92%が山林、宅地は約1%で僅か



土地利用別の面積と比率

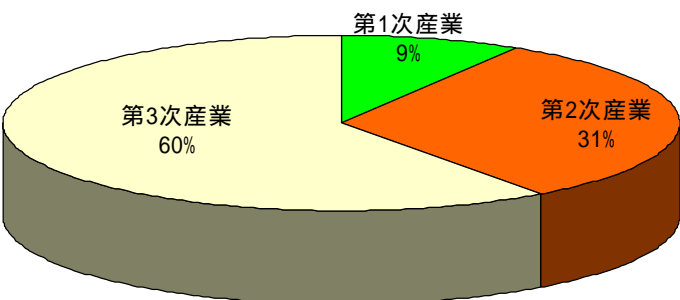
地目	面積(km ²)	比率(%)
山地	1,089.3	91.6
田畑	84.2	7.1
市街地	15.9	1.3
流域面積	1,189.4	-

出典)平成7年度 千代川河川現況調査による

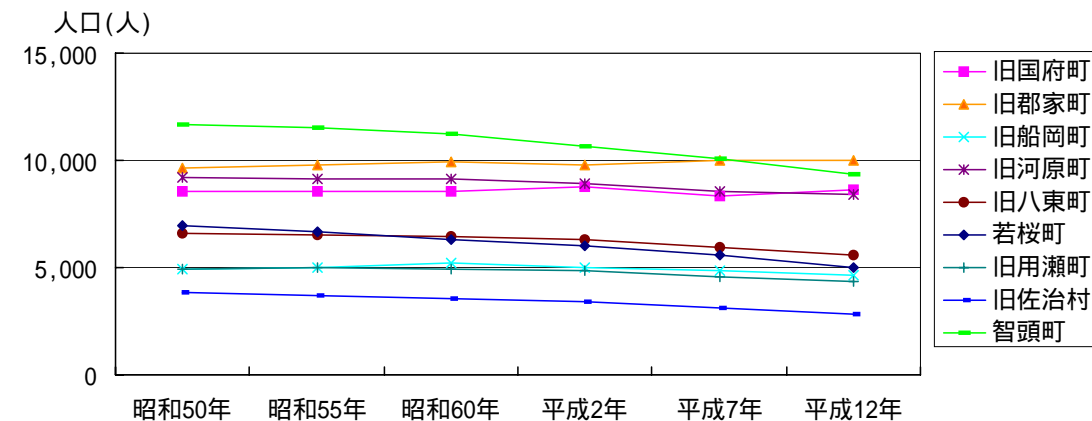
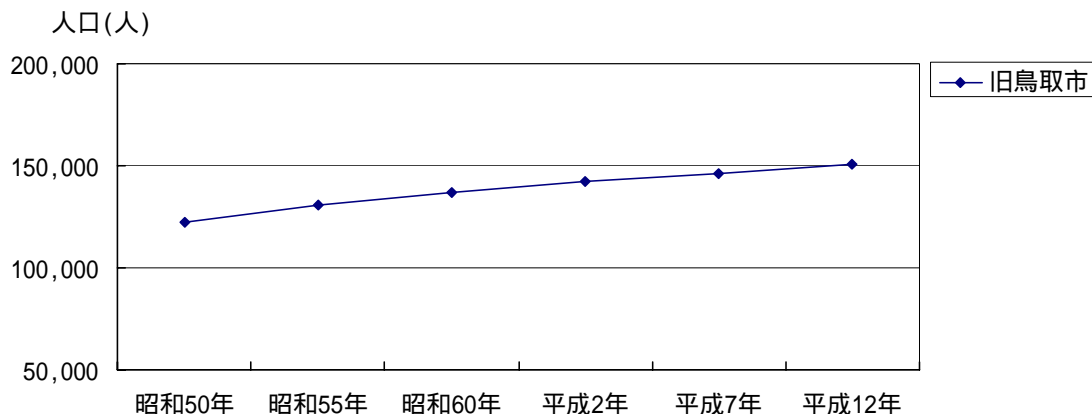


5.人口の推移

- ・流域内人口は約20万人
- ・旧鳥取市とその周辺の旧郡家町と旧国府町では人口が増加傾向にあるが、その他の町では漸減傾向にある
- ・産業別就労者数は第3次産業が約6割を占める



流域市町の産業別就労者数の割合
(平成12年 国勢調査による)



流域市町の人口推移(国勢調査による)